

# 令和元年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告

## 概要

### 【目的】

相談支援従事者研修（以下「研修」という。）を、円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

### 【年間活動方針】

- ・相談支援従事者主任研修のカリキュラムを作成し、教材（演習ノート、ツール等）を完成させる。
- ・相談支援従事者初任者研修・現任研修の教材を完成させる。
- ・研修間で重なるテーマについて、再整理をする。

### 【委員構成】

敬称略、五十音順

	名前	所属
1	秋元 妙美	CIL ちょうふ
2	池田 克子	NPO 法人秋川流域生活支援ネットワーク をとん
3	北川 悦子	一般社団法人ソラティオ 相談支援センターあらかわ
4	佐藤 蘭美	法政大学現代福祉学部
5	杉田 泉	社会福祉法人江戸川菜の花の会 まある相談支援事業所
6	塚田 芳昭	IL みなみ Tama
7	堤 愛子	NPO 法人町田ヒューマンネットワーク
8	中島 美穂子	社会福祉法人マインドはちおうじ マインドはちおうじ相談支援センター
9	花形 朗子	社会福祉法人ときわ会 地域生活支援センターあさやけ
10	藤井 亘	NPO 法人クローバー
11	吉澤 浩一	NPO 法人ヒーライトねっと 相談支援センターくらふと

### 【活動状況】

	日時	形式	議事
第1回	5月29日	全体会	年間研修実施計画・活動方針等
第2回	8月13日	全体会	主任研修カリキュラム確定
第3回	10月8日	全体会	国研修受講報告、新カリキュラム準備
第4回	3月9日	全体会	年間のまとめ、来年度への引継ぎ事項

※初任者・現任・主任研修カリキュラムについては、研修ごとのチームに分かれて同時並行で作成。検討会以外の場でも検討を重ねた。

※第4回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

## 活動成果1 相談支援従事者主任研修カリキュラム等の作成・実施

### ○対象者

地域の相談支援体制において、地域課題についての協議や相談支援に従事する者への助言・指導等を実施するなど中核的な役割を果たす者（主任相談支援専門員）として、区市町村からの推薦を得た上で、一定の実務経験を有する者（修了者数:59名）

### ○研修カリキュラムの内容

	研修1日目	研修2日目	研修3日目	研修4日目	研修5日目
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任相談支援専門員の役割</li> <li>・障害者福祉施策等の動向</li> <li>・相談支援事業所における運営管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成の意義と必要性</li> <li>・研修・グループワークの運営方法</li> <li>・人材育成の地域での展開</li> </ul>	相談支援専門員に対する現場教育の方法と展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センターにおける地域連携</li> <li>・地域援助技術の考え方と展開技法</li> <li>・地域援助の具体的展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域援助の具体的展開</li> <li>・多職種協働（チームアプローチ）の考え方と展開方法</li> <li>・地域共生社会の実現</li> </ul>

【特徴】「地域づくり」と「人材育成」について様々な角度から学べる構成になっている。また、「運営管理」といったこれまで相談支援従事者研修ではあまり触れられてこなかった内容についても、相談支援専門員の業務と引き寄せて考えられる内容となっている。  
 ・上記内容を実現するため、今年度は、障害福祉分野以外の専門職や、東京都以外の地域から講師をお願いした。

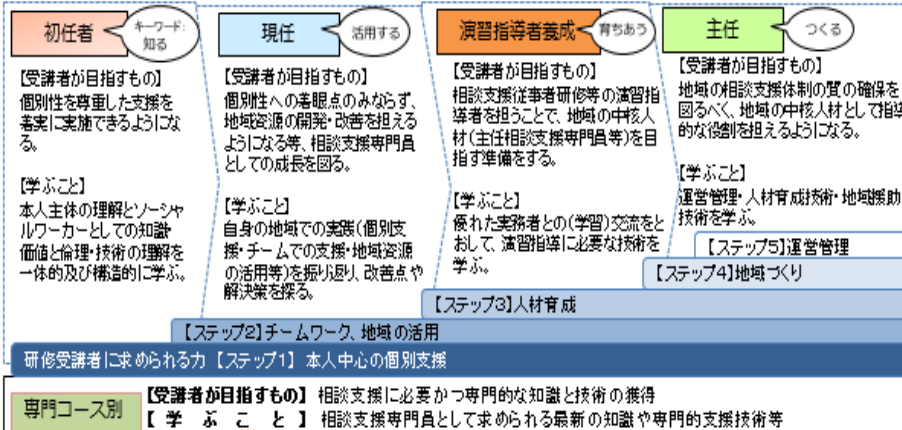
## 活動成果2 新カリキュラム対応東京都版プログラム案の作成

	新初任者研修	新現任研修
対象者	これから相談支援専門員となる者	更新希望者で、一定の実務経験があり、事業者からの推薦を得た者
構成	講義2日 演習5日 実習2回	講義1日 演習3日 実習1回
事例	共通事例及び自身の事例	共通事例及び自身の事例
事前課題	演習ノートの読み込み（事前課題用教材特になし）	事例の概要をまとめる、地域資源調査 【事前課題完成】
主な講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉の理念を学ぶ。</li> <li>・ケアマネジメントの理念と実践を学ぶ。</li> </ul> 【企画案・具体的なタイムテーブル完成】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を基盤としたソーシャルワークの理論を確認する。</li> <li>・スーパービジョンの理論と方法を理解する。</li> </ul> 【企画案・具体的なタイムテーブル完成】
主な演習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援プロセスを理解し、体験する。</li> <li>・学びと実践の繋がりを理解し、体験する。</li> <li>・地域資源・考え方を理解し、体験する。</li> </ul> 【具体的なタイムテーブル・教材作成中】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の相談支援の実践について、個別支援・チームアプローチ・コミュニティワークの視点から振り返り、気づきを得る。</li> <li>・スーパービジョンを受けることの必要性を体感する。</li> </ul> 【具体的なタイムテーブル完成・教材作成中】
主な実習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目は、自身の事例の方と会い、アセスメントを行う。</li> <li>・2回目は、上記の方のサービス等利用計画を作成するとともに、今後業務上の相談先（基幹相談支援センター等）へ出向いて課題を行う。</li> </ul> 【実習課題用ツール作成中】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習で得た気づき等を、基幹相談支援センター等で助言を受ける。</li> <li>・地域協議会へ参加する。</li> </ul> 【実習課題用ツール作成中】

## 活動成果3 研修ごとの繋がりの明確化

各研修で目指すことと、受講者に求められることを図式化  
 「私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.6」の一部を変更→Ver.7へ

### 【東京都の研修のしくみ ～相談支援専門員もエンパワメントのプロセスをたどる～】



## 活動成果4 講師養成

演習指導者養成研修を、より実践的な内容にブラッシュアップし、実施（修了者数：16名）

対象者	都研修で初めてまとめ役を担う者
構成	講義及び演習 3日間
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の相談支援専門員の養成の考え方</li> <li>・東京の相談支援及びサービス提供の歴史の理解</li> <li>・相談支援専門員とファシリテーションスキル</li> </ul>

## 活動成果5 専門コース別研修のテーマ決定・実施

「地域での豊かな暮らしが継続されるよう、ライフステージを見渡した支援を考える！」をテーマに、障害福祉以外の分野の講師も登壇（講義形式1日 修了者数：203名）

## 活動成果6 その他

- 国主催の下記研修等への参加
- ・主任相談支援専門員養成研修
- ・相談支援従事者指導者養成研修
- ・相談支援従事者研修企画運営検討会議

## 来年度に向けて

項目	検討会で行うこと
初任者研修	演習タイムテーブル・演習教材・実習課題用ツールを完成
現任研修	演習教材・実習課題用ツールを完成
主任研修	令和元年度の国研修内容を反映し、内容をブラッシュアップ
専門コース別研修	テーマ選定
演習指導者養成研修	新カリキュラムに対応した内容へ、ブラッシュアップ 演習指導者の確実な確保に向けてのアイデア出し